

東日本大震災復興支援プログラム設計

COEXIST WITH NATURE

idea sheet / 2011. 3. 17. edit

2011. 3. 23. re-edit

2011. 4. 7. re-edit

Artist / Nobumasa Takahashi

e-mail. 8@nobumasatakahashi.com <http://www.nobumasatakahashi.com>

東北関東大震災復興支援

プログラム設計

2011.3.17. NOBUMASA TAKAHASHI



2011年3月11日14時46分3ミ陸沖を震源に国内観測史上最大M9.0の地震が発生しました。

被害にあわれた地域の皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。

こんな時アーティストの私になにかできるだろうと、絵を描きつづけながら
東京にいる ずっと考えていました。

そんな時まわりから「ものづくりのライン」が危機に面していると聞きました。
特に被災地に近い茨城県、群馬県の工場では仕事が止まってしまっている
と話を聞いたとき、
深刻で そうです。

「ものづくりのラインを維持する」とも

復興支援になるのではないかと思います。



チャリティーより
そのお魚を
義援金にしたら
よいのでは？

チャリティーで「物」をつくらせて売上げを寄付する

という企画にのりきれないでいた私ですが、

でも、今回は

もの「作り」の製作、生産を被災地、また被災地近くで行うことにより、

自分の身近でもある「ものづくり」の現場で復興支援ができるという

考えにいたりしました。

復興支援 ポイント①

チャリティグッズの生産を

被災地

また

被災地近く

被災により活動停止に

おなまれている

地域で行う

作られた時点で
支援になる

復興支援 ポイント②

チャリティグッズ

の

売上げを

寄付

その上で寄付
することにより、
2倍の効果になる
のではないかと。

アーティスト 高橋信雅は上記の考えの上、
こうした活動を支援することをきめました。

皆様もご一考いただければ幸いです。

まけるな日本！

ものづくりを愛する人々に最強の力を！！



2011年3月17日

高橋信雅

東京板橋アトリエにて

"COEXIST WITH NATURE" series

「自然とともに生きる」シリーズ

東北関東大震災復興支援プログラム 設計 20110323

NOBUMASA TAKAHASHI



今回、東北関東大震災復興支援プログラムを考えるにあたり、
高橋信雅は「自然とともに生きる」というシリーズを立ち上げます。
これは復興支援が長期にわたることを視野に入れ、
チャリティが「最初の一回だけ」にならないよう、
少いながらも長く援助ができる「しかけ」にならないかと考えたものです。

内容としては、
高橋信雅がアーティストとして今回感じたイメージを「自然とともに生きる」という
コンセプトのもと、さまざまな絵やパターンに描き下ろします。
(今後も描き足す予定)
そして、このシリーズを使用した商品などの売り上げ(または売上げの一部)を
義援金として寄付するという「しかけ」です。

ポイント

クオリティの高いただのチャリティグッズにならないように、
絵は数十枚単位で描き下ろし、商品として、作品としても
より良い形をめざします。
この考えは、絵をシリーズ化して、多用途に対応できるブランド化する
最初につくるトートだけでなく、今後、他の商品(服、雑貨など)へと、
幅広く展開できるイメージをつくり、この活動重かに参加していただいた
企業の方々にも利益がしっかりと出るしくみづくりをイテ、
被災地への長期的な援助活動ができるかと考える次第です。

アーティストとしては作品を
みなさまにうまく活用して
いただければ
本望です。



負けるな日本!!
JAPAN MEET HARDSHIP.
HANG ON THERE, TOHOKU!!
2011年3月23日
高橋信雅

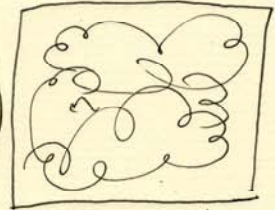
"COEXIST WITH NATURE" series

"自然とともに生きる"シリーズ

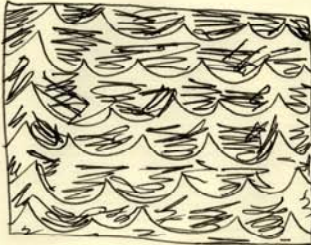
東北関東大震災復興支援プロジェクト設計 20110323

NOBUMASA TAKAHASHI

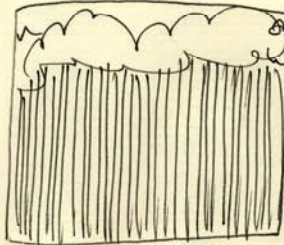
2/2



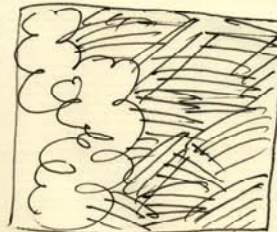
くも



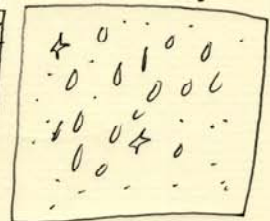
三海



つなみ



つなみ



雨(ほしあめ)

その他に 木、
復興への気持ちもこめて
ビル群とかもよい



木々



ビル

絵柄は、今回の震災から感じたイメージもアーティストとして、
ありのまま描くと思います。今回おそいかかってきたつなみの
こころ

おそろしい姿、元のきれいな海、など。
恐いものなど出てくると思うので、出す時期、
用途により、うまく使い分けてください。

商品へのおとにみは、セリぬき、作品の部分のみの
使用など、ご自由にどうぞ。

か、よくなれば、よし!! 良きより形をめぐす上で
デザイナー・MDによるディレクションは不可欠と考えます。
最終、高橋サイドへのデザインかくにんも忘れずに
お願ひします。

使用の際は、

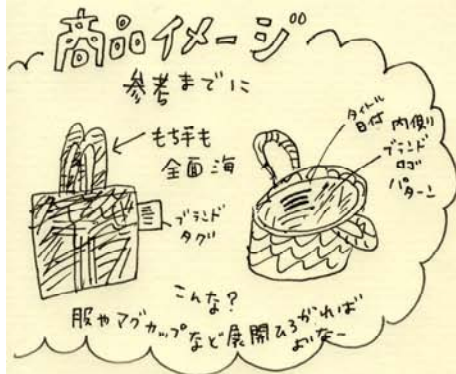
タイトル "COEXIST WITH NATURE"
日付 20110311 1446
アーティスト NOBUMASA TAKAHASHI

の3点は、かならずどこかに示してください。

英語 日本語 大文字 小文字 は自由です。

自然の系に「自然とともに生きる」ということば。
震災の日付があることにより、

「人間達の中には自然力があるわけではなく
自然の中に人間はいまいるのだ」
ということも、改めて気づかれます。



平本になるのをやめよう
あたりまえのこと、
ときどきちゃんと思ひ出す

ために
作品達を
つくり出す。

2011年3月23日

高橋信彦

東北関東大震災 あらため
東日本大震災復興支援プログラム設計

福島原発放射能の風評被害対策提案 20110407
NOBUMASA TAKAHASHI 



大震災より約一ヶ月が経ちました。
現在、福島原発の放射能流出が深刻化。

それによる風評被害が拡大しています。

食品以外の商品もイタリタなく、大抵Aprilにはユーザーから

「(福島) 原発の近隣難範囲内から

出荷される商品はあるのでしょうか？」

との  問合せが殺到し、
問題…合

「取り扱っていません」と発言してしまうところまでです。

特に「福島」というキーワードに敏感になって、

都内では、「福島ナンバー」の車が馬王車場に刃立てもらえない!!

という極端な例も出てしまっているようです。

福島県内には、優秀な縫製工場があります。

そこで作られた「もの」は、出荷されず、取り残されているそうです。

これは、今、「あぐら」をかいて  評価側にまわっている「東京」

それだけでなく「日本全体」にも同じ苦境はまわってきます。

「取り扱えない」と締め出してしまうことは、

今後の日本全体の首をしめることになるかと
私は考えます。



対策は?

東北関東大震災 あらためて日本大震災復興支援プロジェクトの設計

福島原発放射能の風評被害対策提案 20110407

NOBUMASA TAKAHASHI

2/2

風評被害対策としては「取り扱わない」ではなく
「隔離する」のはどうか？と提案します。

東京や大千代ポートの福島県産やさしいコーナは連日売り切れ
ているそうです。

これは、福島県出身者や、風評被害を嫌う人、また応援者が
その商品を買うことで、わかりやすく支援を行うことができるからです。

被災地、または被災地近くの活動停止地域も使用したブランド設計

イェー

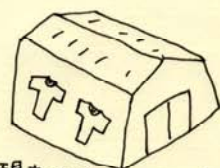
“自然と共に生きる”

COEXIST WITH NATURE

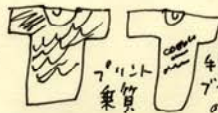
201103111416

作品シリーズ“タカ”
ブランドタカも
よいかも

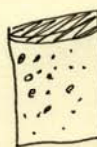
“フクシマ”
とか代表的にはも
よいけど
他県もあるのど
イマイチか？



現在出荷できないに
商品には
ブランドタカ(日付)を
集算して使うとか？



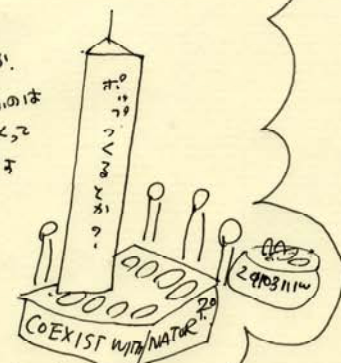
タグにだけ集算でもイイ



ありものの上から
一色糸のせ
ちゅうとか。
タグまがうてないのは
かゆい...のつく
る足す



売り場ではまざらないように他とくっつけて
わかりやすくブースイ



「隔離する」ことによるブランド化をすすめることで

“フクシマ”として今後の“日本”をすくうことにな
るのではないかと、
考えています。



放射能の逆風をさかては、企画せず
被災したからこと、本物をつくったんだと
かかめ、人々に言わせたいです

2011年4月7日

アーティスト 高橋信雅

W

COEXIST WITH NAT URE 201103111446

NOBUMASA TERAKURA SHI

COEXIST WITH NATURE 20110311 1446

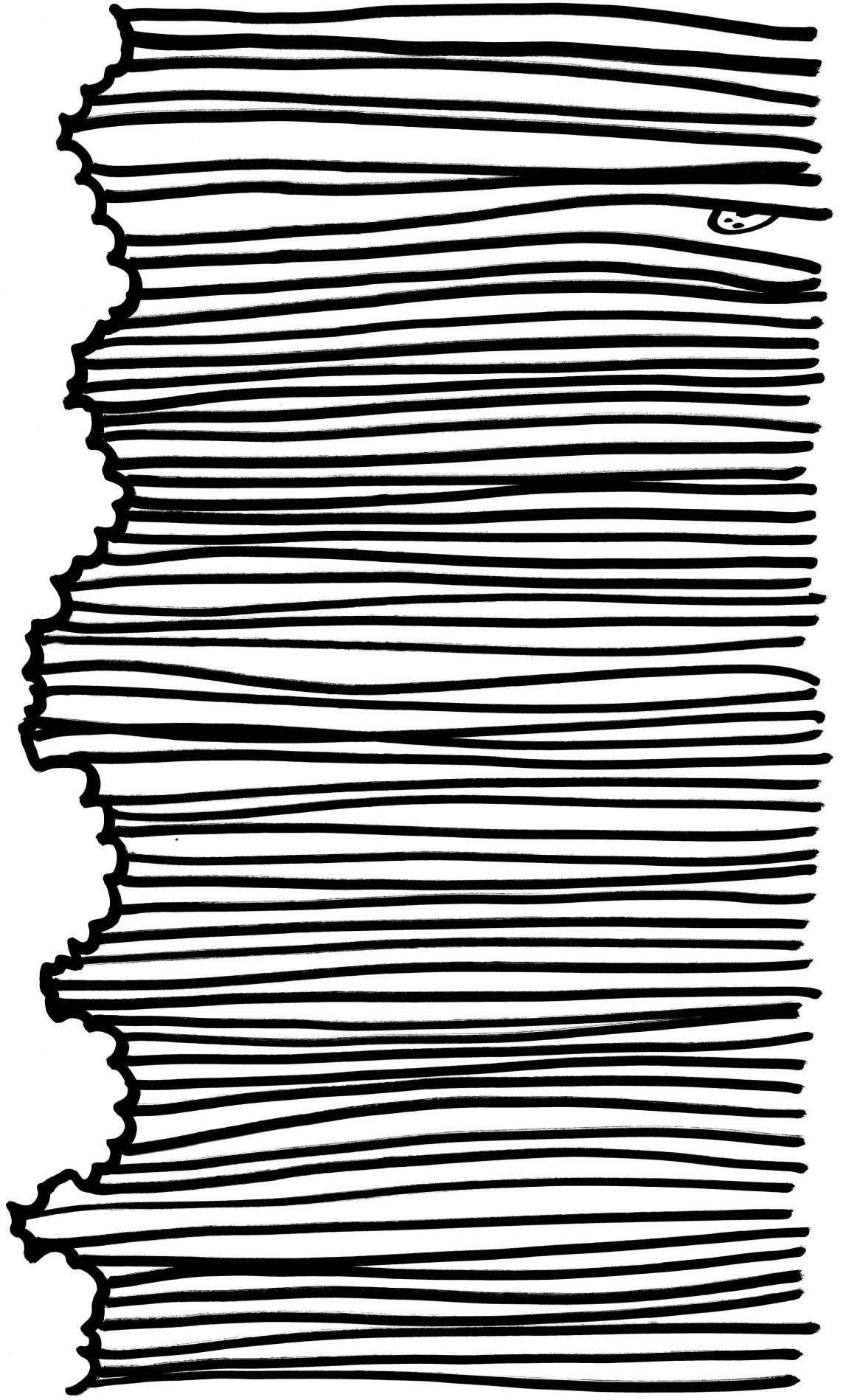
NOBUMASA TAKAMASHI

COEXIST WITH NATURE

20110311 446

NORUMASA

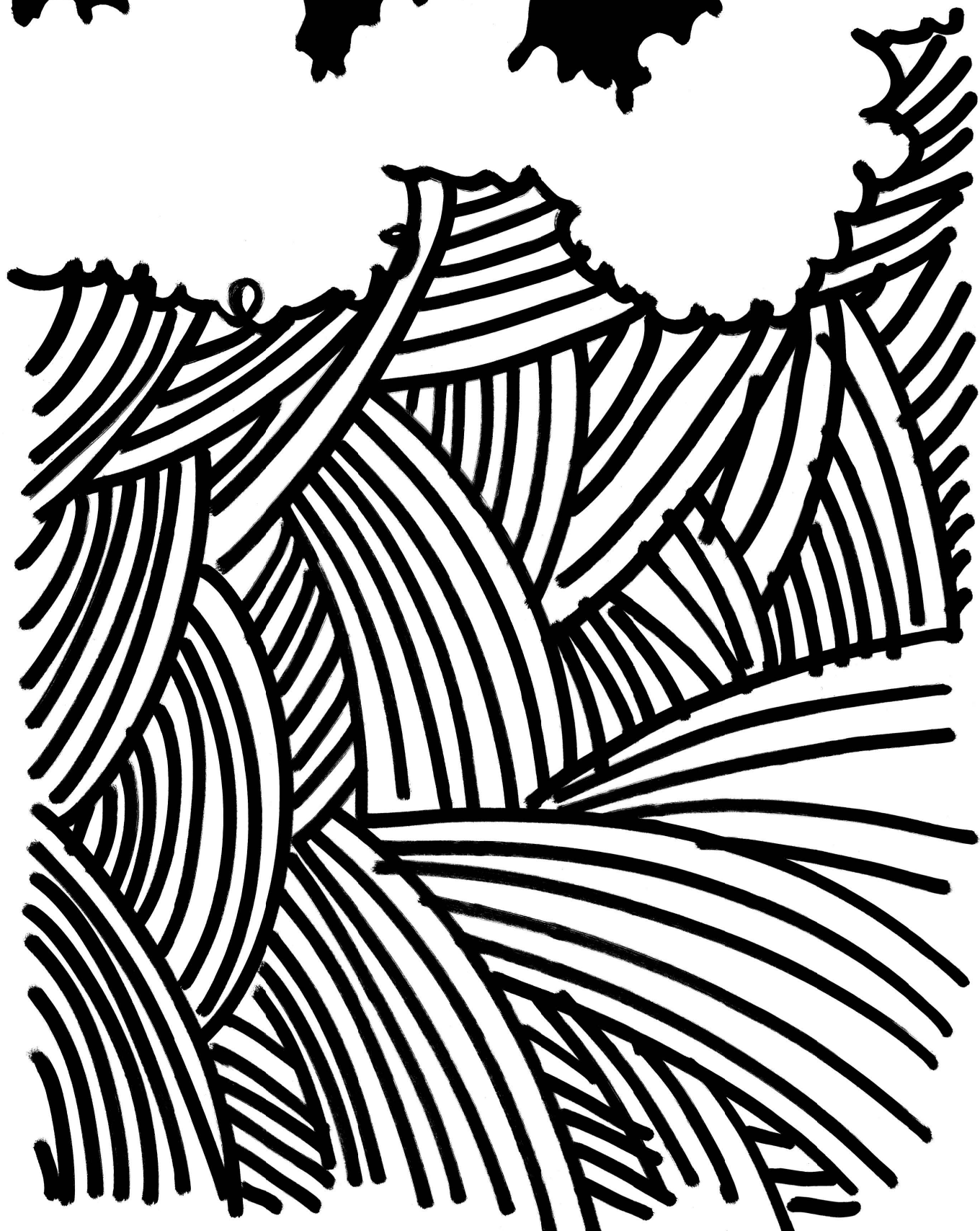
TAKAHASHI

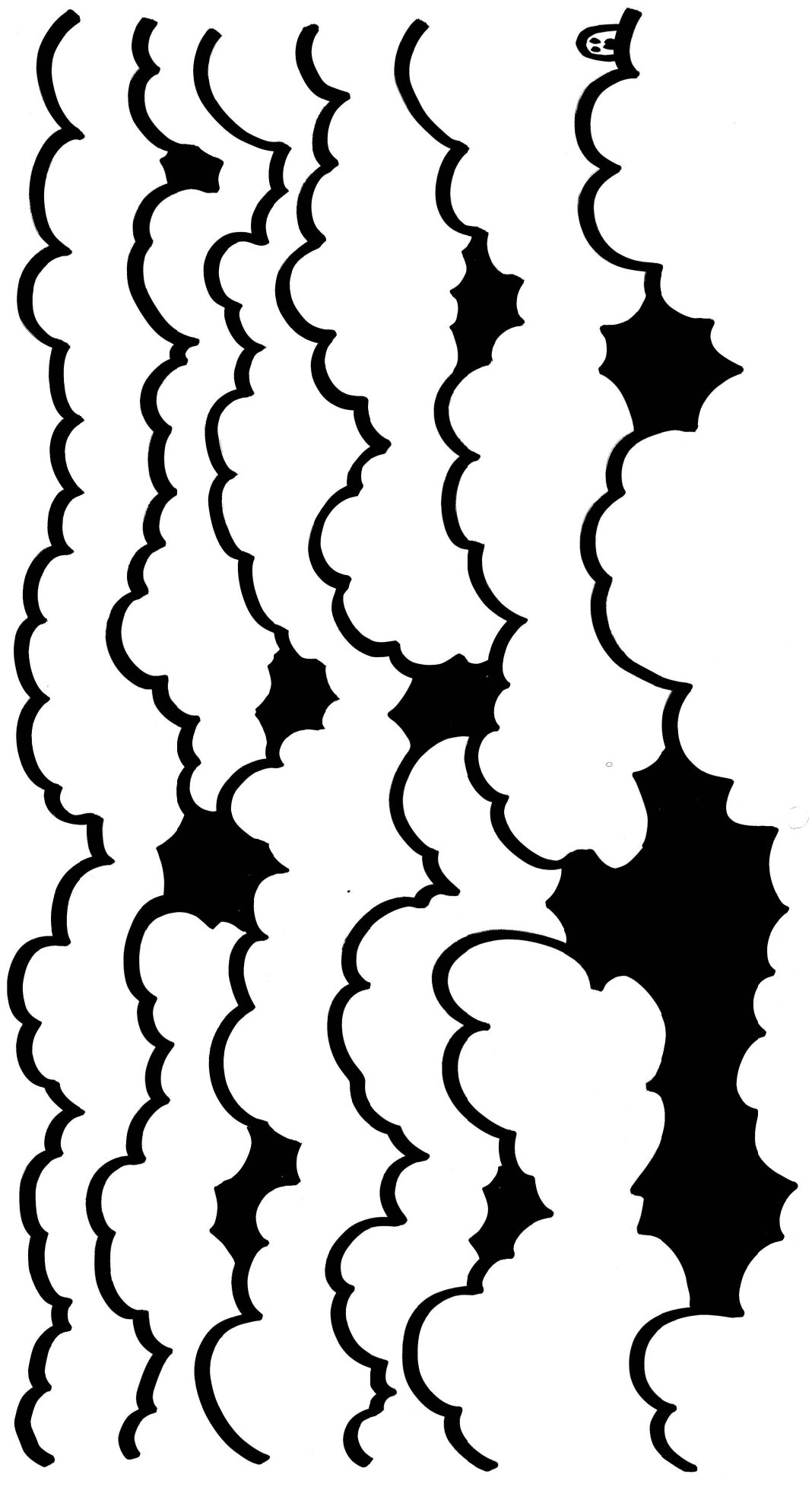


COEXIST WITH NATURE

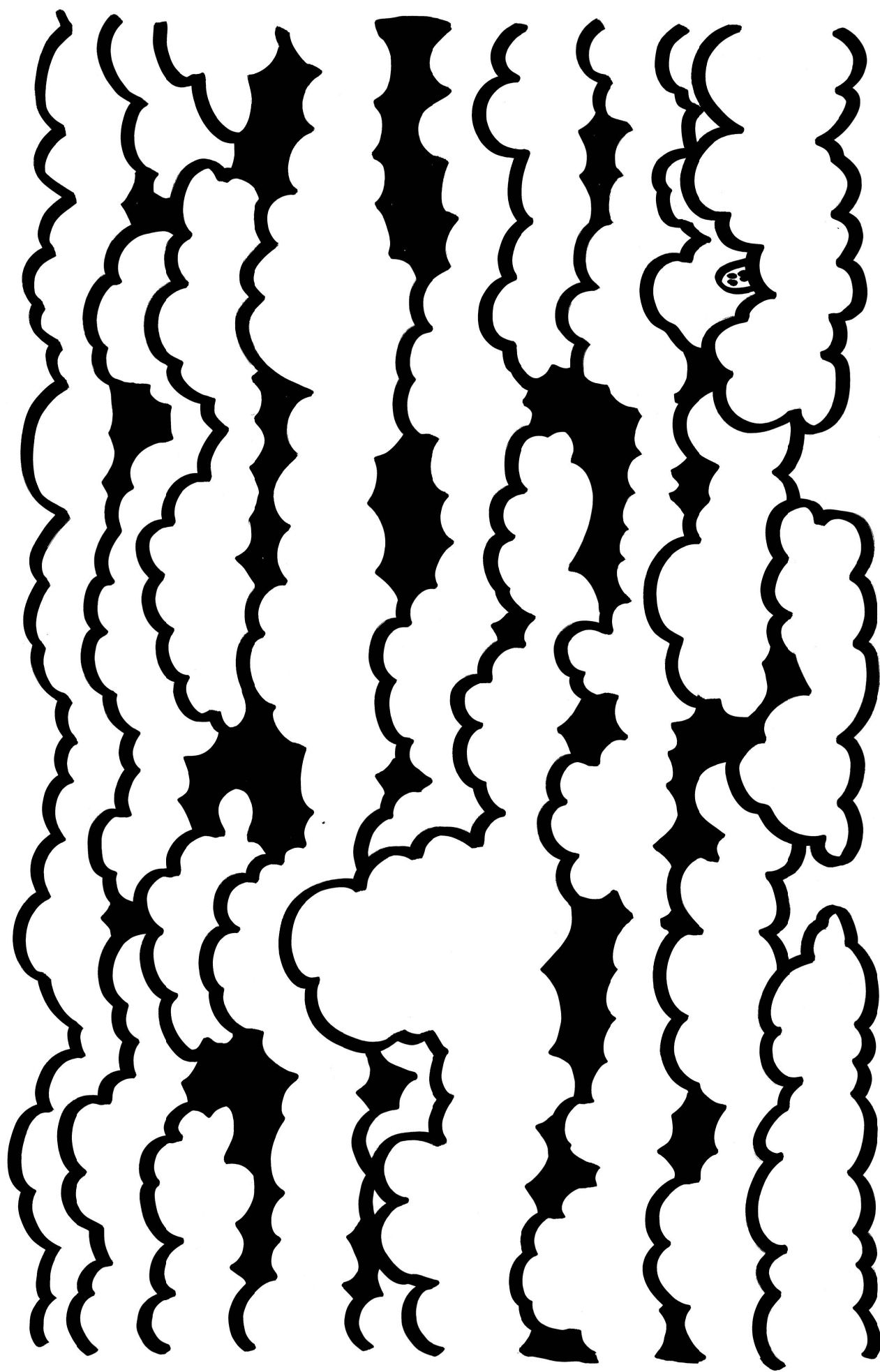
201103111446

MORUMASA TAKA
HASHI



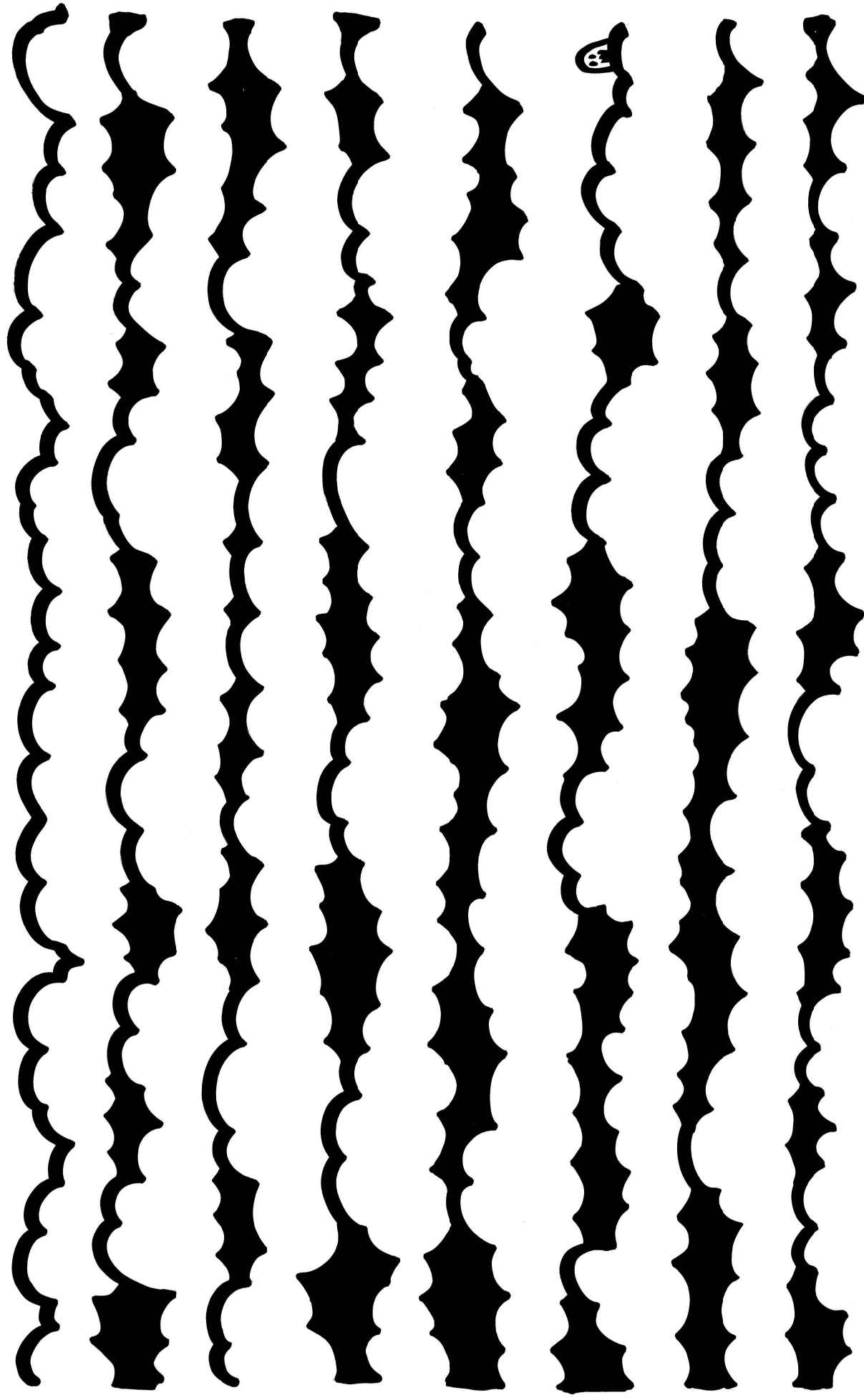


COEXIST WITH NATURE 20110311146 NOBUMASA TAKAHASHI



Coexist with nature

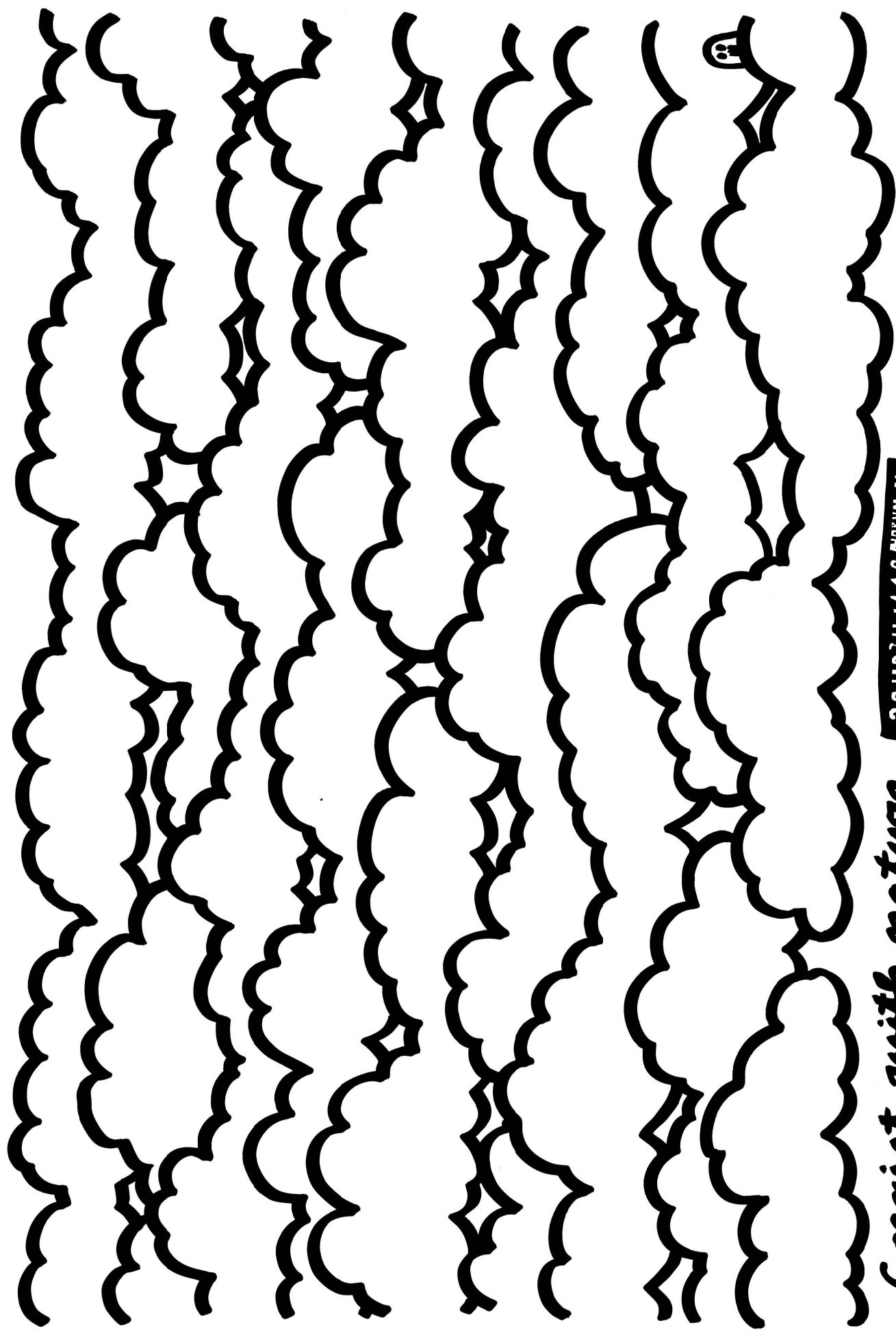
201103111446 МОСКОВСКИЙ ТЕХНИЧЕСКИЙ



COEXIST WITH NATURE

2011031/1446

NOBUMASA TAKAHASHI



Coexist with nature

20110311 1446 阿部 麻呂 子

NOBUAKA
TAKAHASHI

20110311448

COEXIST
WITH NATURE

8



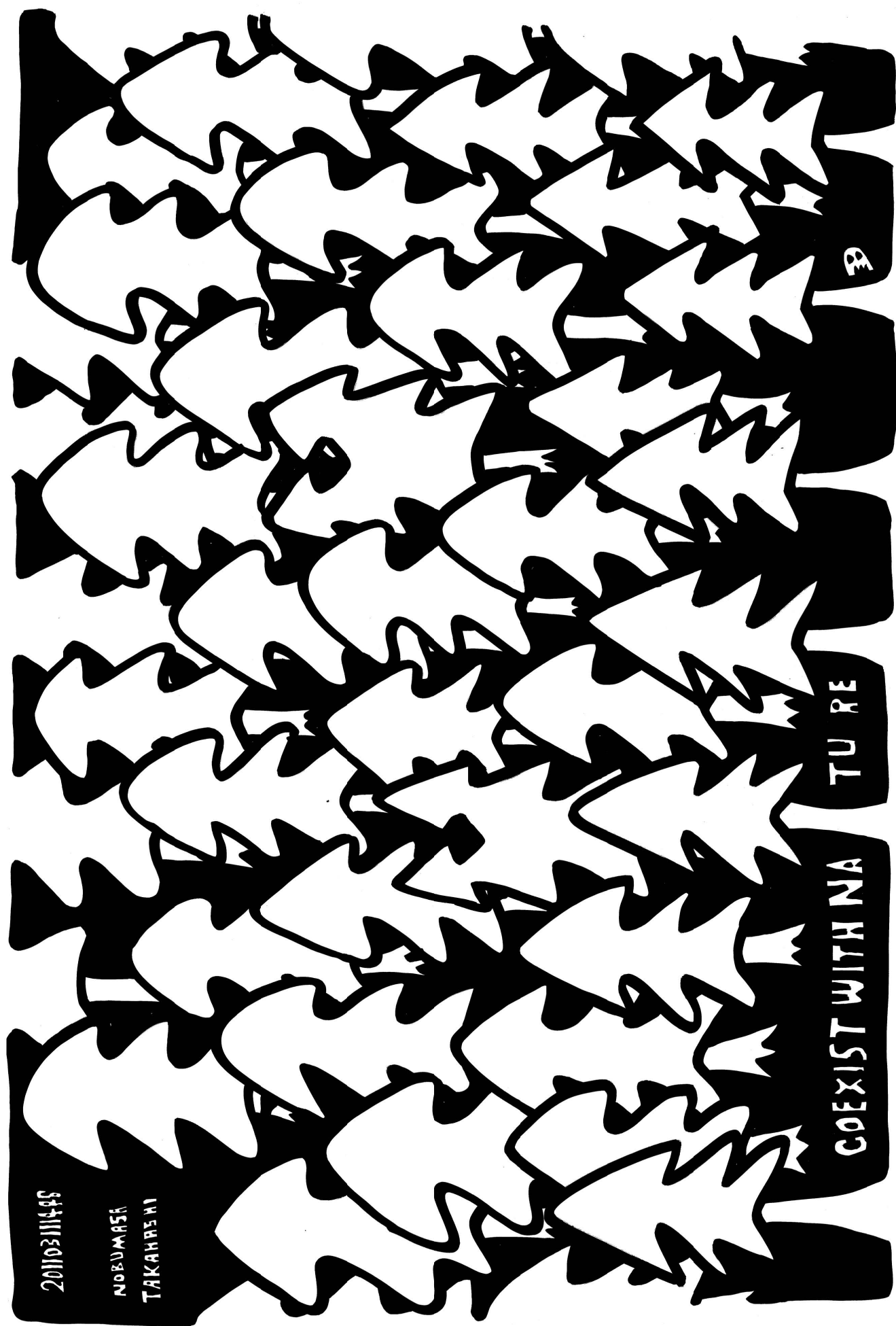
20110311449

NOBUAKASHI
TAKAHASHI HI

COEXIST WITH NA

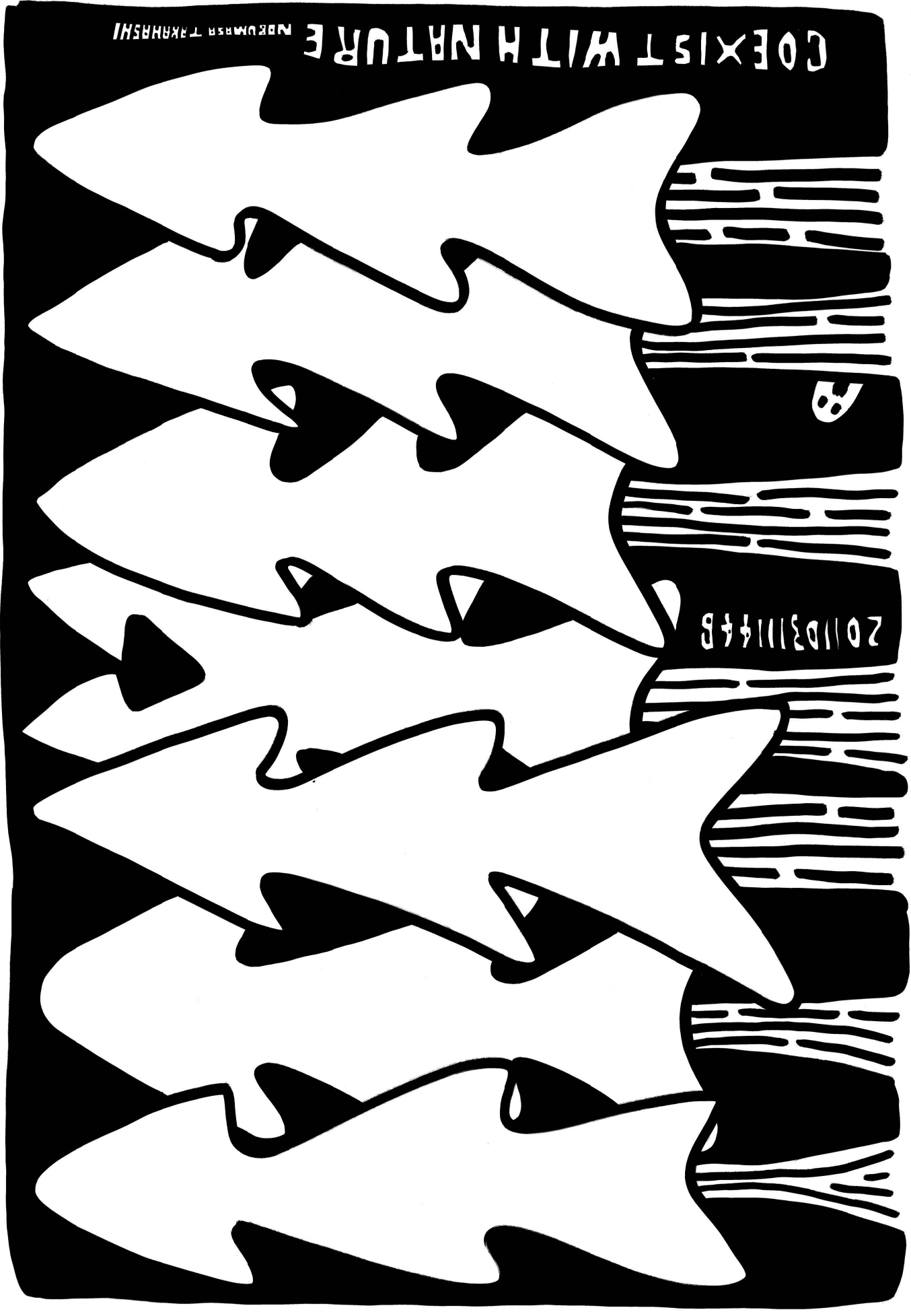
TU RE

3



COEXIST WITH NATURE
NOBUAKIRA TAKAHASHI

20110311448

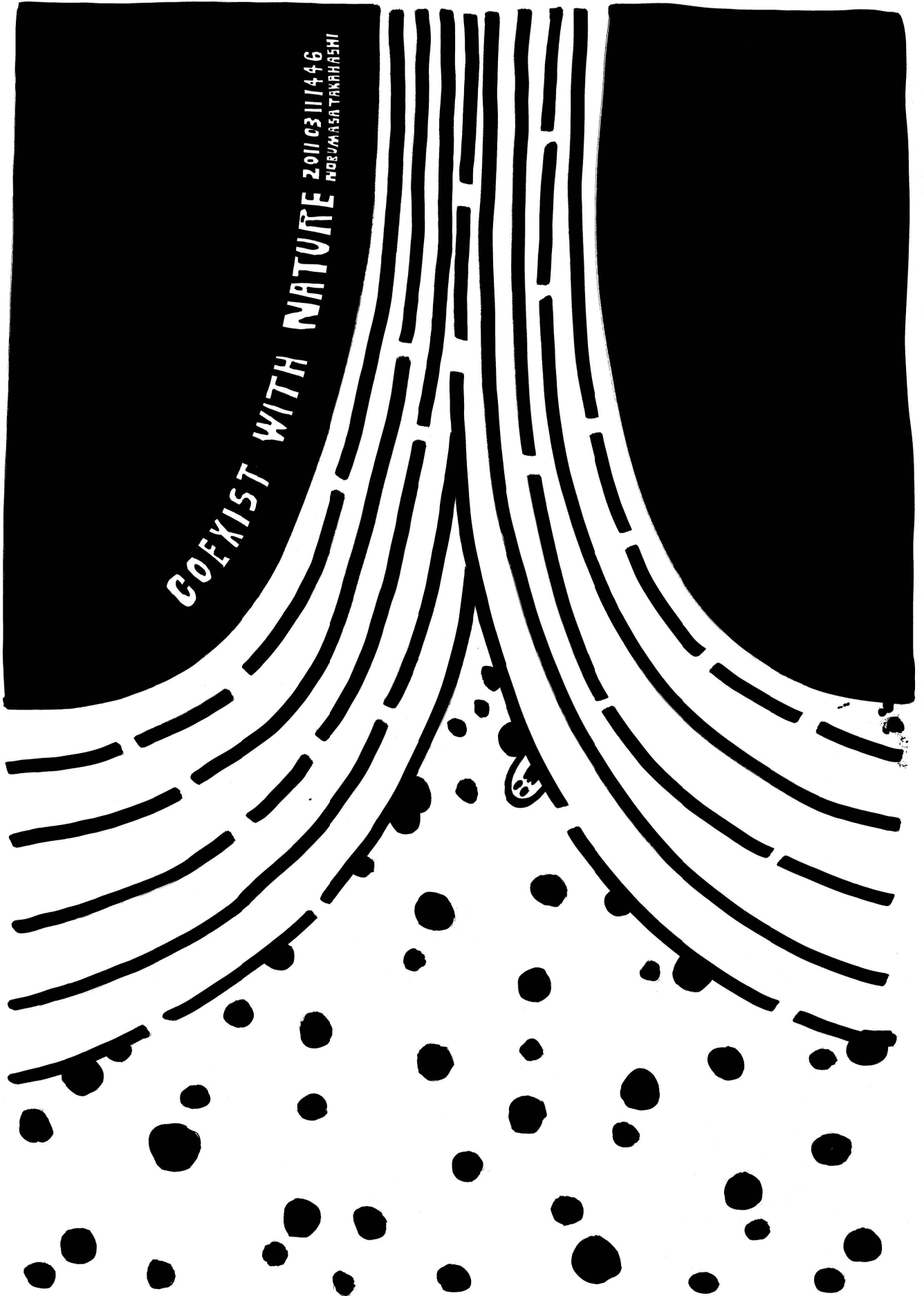


The image is a high-contrast, black and white abstract graphic. It features several sets of thick, curved, parallel lines that sweep across the frame from the top left towards the bottom right. These lines are set against a solid black background, creating a sense of movement and depth. The lines are composed of multiple parallel strokes, some of which are slightly offset, giving the design a layered, almost architectural feel. In the lower right quadrant, there is a small white rectangular area containing text and a logo.

2011/03/11/46 NOBUM ARA TAKAHASHI
COEXIST WITH NATURE



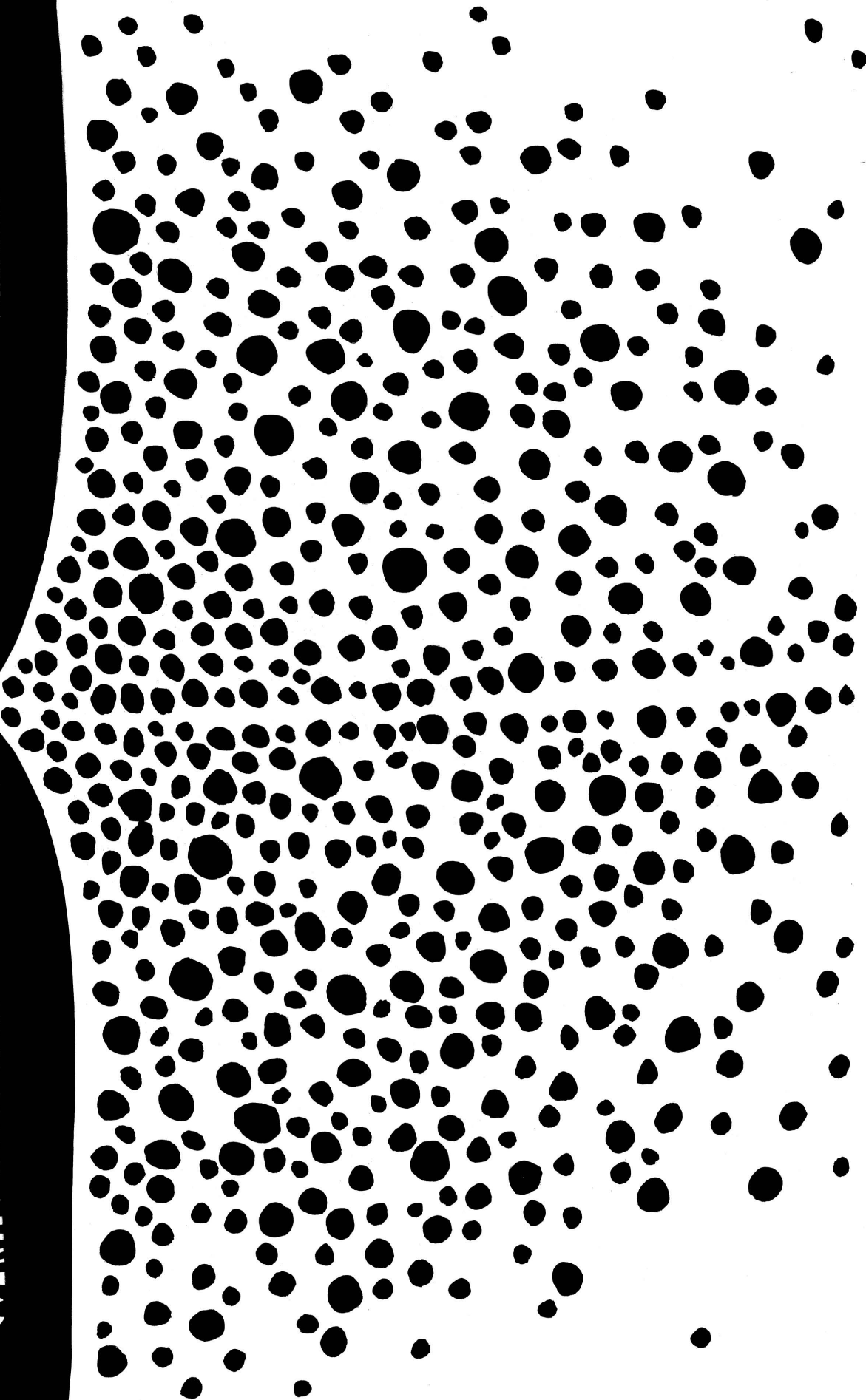
COEXIST WITH NATURE 20110311/446
NOBUAKA TARRHASHI



COEXIST WITH NATURE

2011 03/11 1446

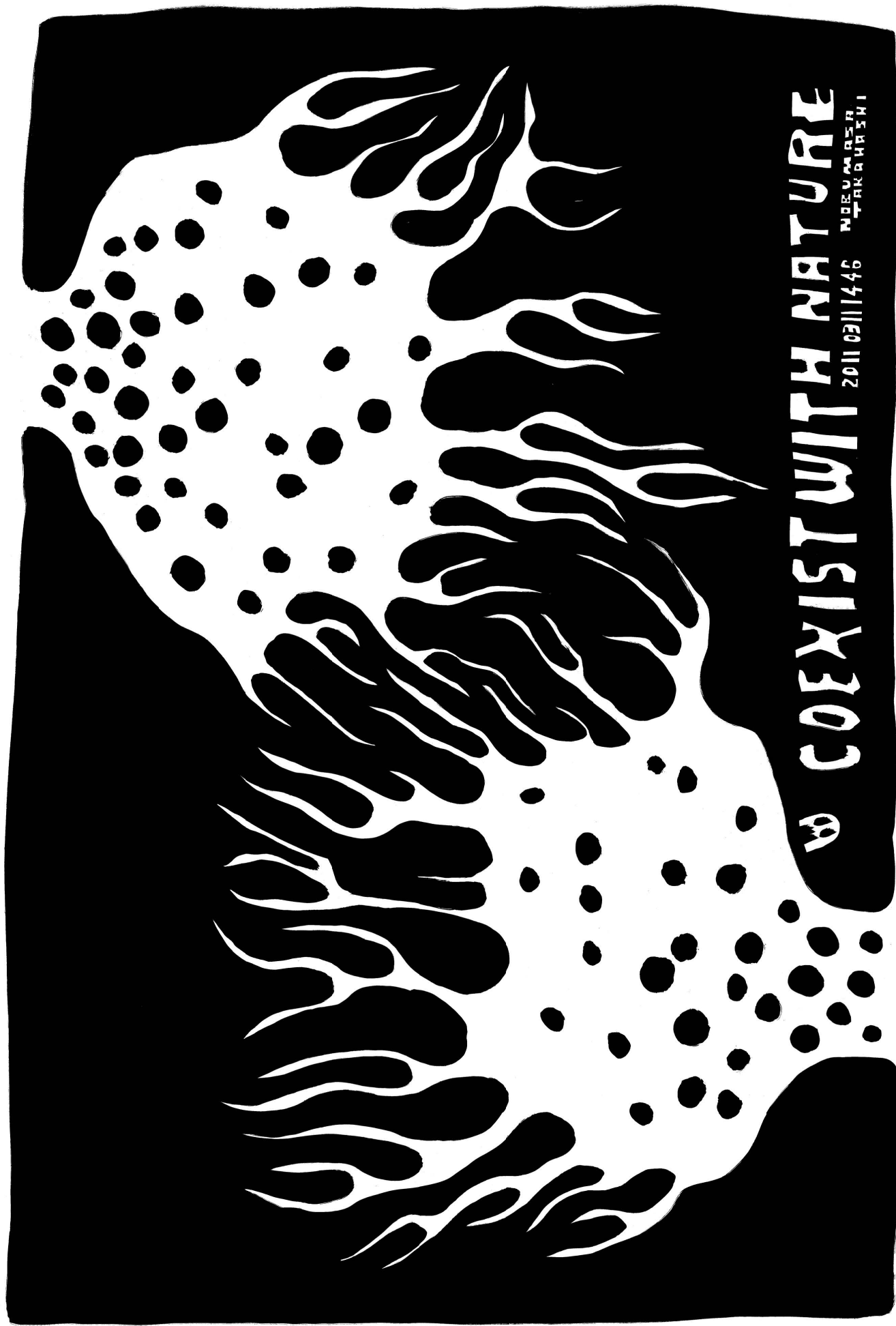
NOBUMASA
TAKAHASHI ㊦

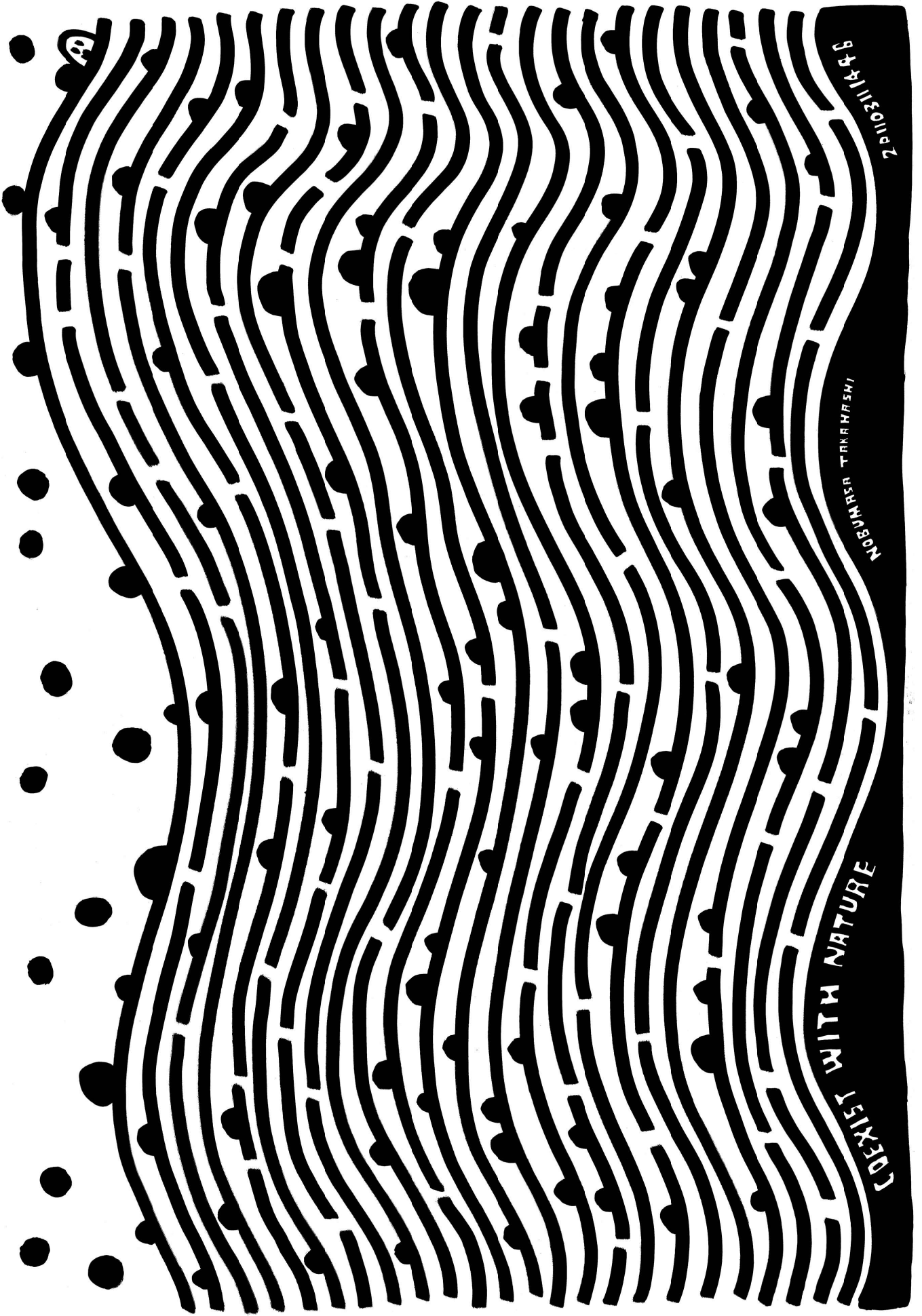


COEXIST WITH NATURE

NUMBER 1
TAKAHASHI

2011 03 11 46





8 9 14 11 3 2

NON BOM
USHER TARRHSHI

COEXIST WITH NATURE

COEXIST WITH NATURE Z010311146
NUMBER
TAKAHESI

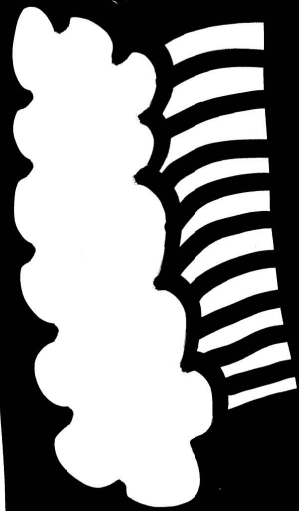
2

seriat with nature
20110311446

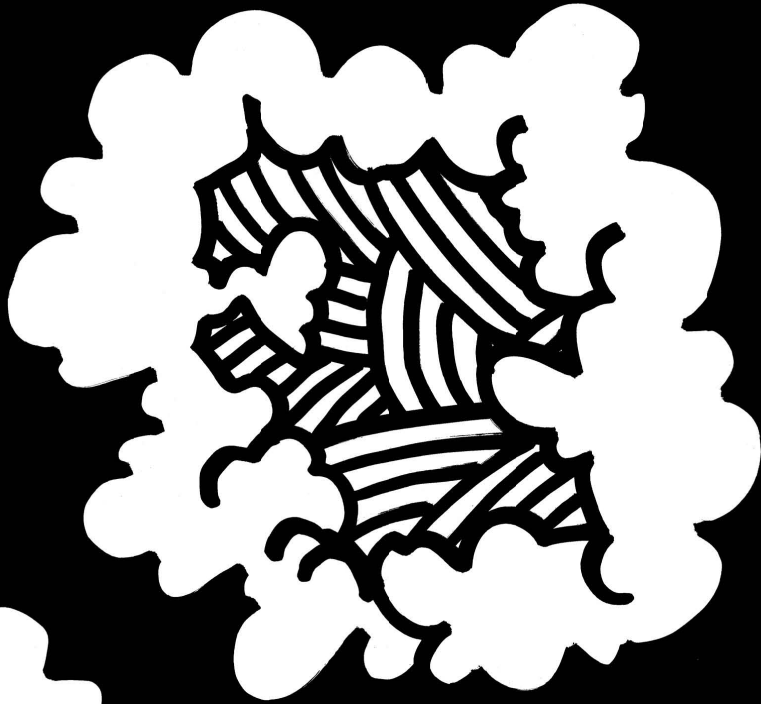
NOBUMASA
TAKAHASHI



Overcast
with
nature



20110311446



NOBUMASA TAKAHASHI

Tokyo

Yang in there

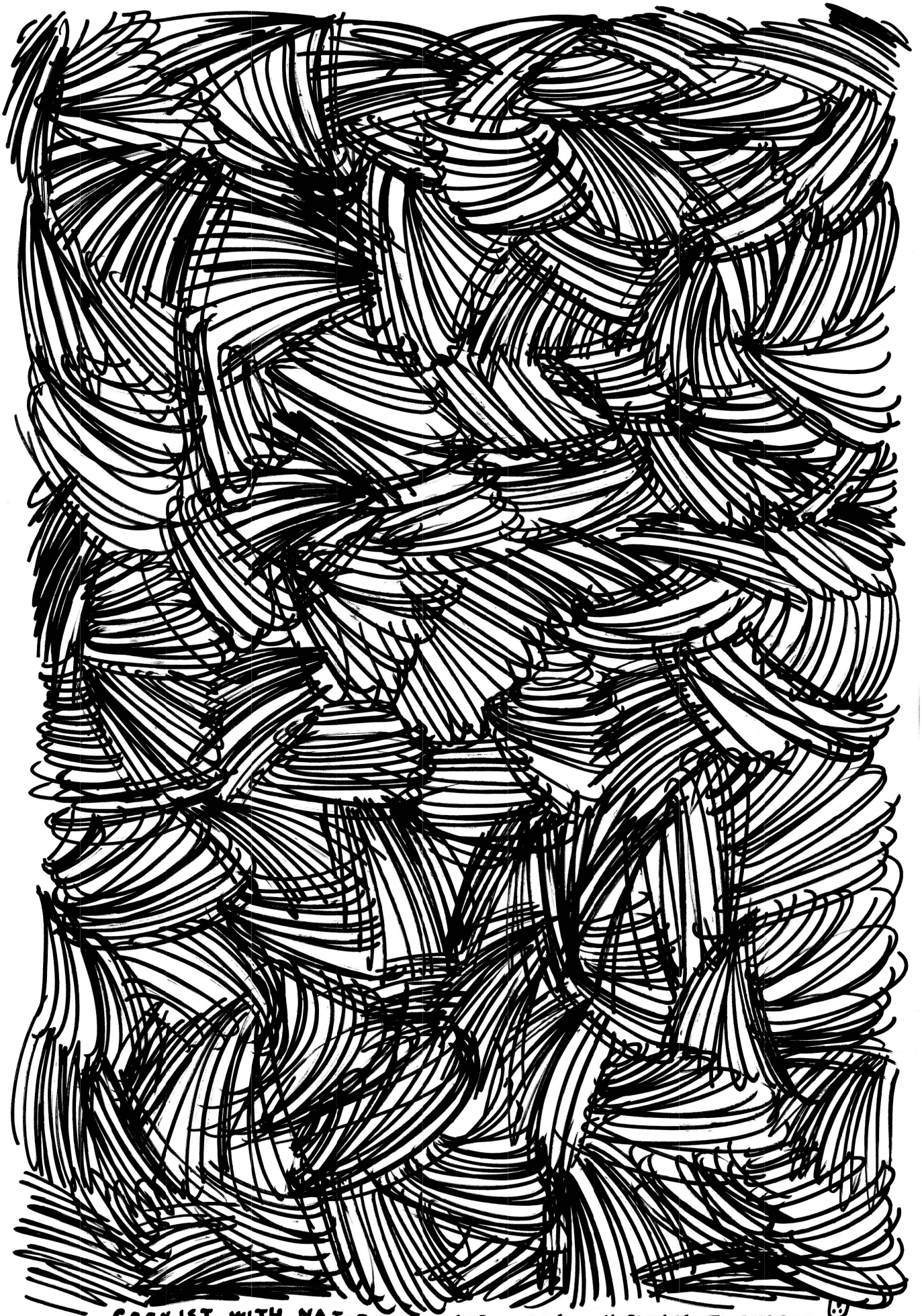




coexist with nature

20110311446

NOBUMASA TAKAHASHI



COEXIST WITH NATURE 2010311 1446 NOSHIMASA TANAHASHI



20110311146
20110316 Nobumasa Takahashi